



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

学校再編について



問 中学校の再編について、北条中学校区の各小学校区の保護者アンケートでは、「現状のままでよい」が圧倒的に多く、他の地域では「統合すべき」が上回っているが、この結果について。

答 (教育長) タウンミーティングでも善防、加西、泉の各中学校区においては、中学校の再編を望まないというご意見はいただいていませんので、前回の学校構想検討委員会での答申も踏まえて方針を決めていきたいと思っています。

問 小学校の再編について。

答 (教育長) 小学校についても、保護者アンケートの結果は、北条小、北条東小は現状維持を望む声が多く、富田小も再編と現状維持を望む声が拮抗している状況です。それ以外の校区では再編を望む声が大きくなっています。タウンミーティングにおいては、賀茂、下里、九会、富合、日吉、西在田、泉各小学校区では再編を望む、あるいは容認するご意見がほとんどで、宇仁小学校区ではまちづくり協議会から現状維持を望むという強いご意見をいただいています。それらを踏まえて、小学校についても年内に方針を示したいと思っています。

問 小学校については地域の中心であり、地域がどうして

も残してほしいということであれば今回は統合しないという柔軟な姿勢で取り組んでいただきたい。また、小中学校の再編を同時にではなく、まず中学校から始めるべきと思うがいかが。

答 (教育長) 地域及び保護者の声を受け止めつつ判断していきます。地域の意向を尊重して柔軟に、丁寧に進めていきます。学校再編については、時間と労力がかかるということは十分認識しています。ただ、再編を望む保護者の声も大きい中で、加西市の学校の今後のビジョンを示す必要があります。それだけではなく、加西市の教育をどうするかというビジョンも含めて示しながら今後進めていきます。大変なことではありますが、子供の教育にとって必要なことと考えています。



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

未来の加西市のために今できること



少子化対策

問 加西市の人口推移予測から見る、支える人数と支えられる人数の割合は。

答 15歳から64歳までの生産年齢人口に対する高齢者人口は、令和5年が5人で3.2人を支え、令和17年は5人で3.4人を、令和27年は5人で3.6人を支える予測です。

問 少子化対策は最大の高齢者福祉と言えるが、人口増対策として子育て5つの無料化の成果は。

答 転入者アンケートでは、5つの無料化が転入の決め手になった、優位に働いたという方は36%ありました。未就学児の人口は、令和4年度67名の増、令和5年度は38名の増となっており、5つの無料化による一定の効果が表れていると考えます。

問 企業誘致に当たり、就職や定住促進につながる施策は。

答 5つの無料化をはじめ、従業員目線で必要とされる情報も企業に周知していくよう、積極的に取り組みます。

子育て世代の声を！

問 子育ての伴走者として、成長に伴う保護者の不安をどう認識し対応しているのか。

答 どの時期においても、保健師等による訪問や電話の相談などにより丁寧に聞き取り、状況に応じた対応を行っています。

ハラスメントについて

問 ハラスメント防止委員会の機能について。

答 職員からの苦情を総務課で事実確認し、事案の内容や状況から必要と認めるときに委員会で審議します。事案によっては複数回の議論を経て、市長に報告書を提出します。

防災について

問 災害時の避難所における女性スタッフ確保や、地域の高齢者や子供の見守り活動における女性の役割等から、女性の地域参画として女性消防団設立の必要性を強く感じる。市の考えは。

答 加西市においても、女性の力を防火活動、消火活動にも生かしたいと考えており、令和6年度より女性消防団の設立に積極的に取り組みます。